

# 友愛ネット

津山市立津山東中学校  
令和 8年2月24日  
No.13



学校教育目標

地域とともに創る、笑顔があり、元気な学校

～他者とのつながりを大切にし、自ら学び、行動する、自立した生徒の育成～

## 令和7年度津山東中学校 学校評価 2月実施 生徒アンケート結果

前号の保護者アンケート結果に引き続き、今号では令和8年2月に実施した生徒アンケート結果のまとめをお知らせします。

### ① 学習・学校生活の現状について

※数値は肯定的意見（「あてはまる」、「どちらかといえばあてはまる」の合計）のパーセントです。

質問項目	1年生(%)	2年生(%)	3年生(%)	全校(%)
授業前の準備（机上整理）	88	93	94	92
主体的に考え、活動する場面がある	88	94	97	93
自分たちで声をかけ合い問題解決する	70	82	86	79
学校のきまりを守っている	83	90	90	88
登下校の交通ルールを守っている	85	95	91	90
時間いっぱい掃除ができています	87	93	90	90



#### ・学習環境の自己整備

授業前の机上整理（全校平均 92%）の数値が高く、生徒一人ひとりが前向きに授業に向かおうとする姿勢がうかがえます。また「主体的に考え、活動する場面がある」という回答が、全校平均 93%に達しています。特に3年生の97%という数字は、受験生としての自覚と、探究的な授業への意欲が感じられます。

#### ・登下校の交通ルール

全校平均で90%と、高い数値を表しています。一方で、地域からの交通マナーについて心配な声や、登下校中のヘルメットの着用状況等を鑑みると、生徒の評価と、周囲の大人の評価の間に、意識の差が感じられる結果となりました。

#### ・教科別の評価

各教科の授業についてもアンケートを実施しています。全ての教科について取り上げられませんが、トピックとして2つの教科（数学と国語）を紹介します。

【数学】数学では、教師が示す「目標」や「課題」のわかりやすさについて、高い評価でした。

・目標のわかりやすさ：全学年で9割以上の生徒が「わかりやすい」と回答しています（1年91%、2年91%、3年99%）。

・学習内容の定着：授業の「まとめ・ふりかえり」が学習内容の確認に役立っていると答えた生徒も、全学年で8割～9割に達しています（1年87%、2年87%、3年88%）。

【国語】国語では、学年が上がるにつれて、自分の考えを深め、広げるという実感が大きく伸びています。

・考えを深める実感：1年生では80%ですが、3年生では96%（「大変そう思う」が52%と半数以上）まで向上しています。

- ・対話の時間の確保：「自分の考えを話したり伝えたりする場面」があると感じる生徒も、3年生では97%に達しています。

## ② 自己肯定感と社会への意識について

※数値は肯定的意見（「あてはまる」、「どちらかといえばあてはまる」の合計）のパーセントです。

質問項目	1年生(%)	2年生(%)	3年生(%)	全校(%)
自分には「よいところ」があると思う	72	82	81	78
将来の夢や目標を持っている	87	80	90	86
先生は自分の良さを認めてくれている	83	88	94	88
社会を変えていくことができると思う	82	73	80	78
将来社会に役立つ力が身についている	88	90	95	91



- ・自己肯定感の安定

「自分にはよいところがある」という肯定感が全校平均で78%に達しており、生徒と教職員の間に「認められる安心感」が形成されているものと考えられます。（先生に認められている：全校平均88%）。

- ・高い志と将来への展望

将来の夢や目標を持っている生徒は86%に上り、今の学びが「将来、社会に出たときに役立つ」と実感している生徒も91%と非常に高い数値を示す結果となりました。

- ・郷土への愛着と主権者意識

「よりよい津山を目指して社会を変えられる」という意識が8割近く（78%）になっています。つやま郷土学での学びが、単なる知識習得に留まらず、社会の一員としての当事者意識（市民意識）につながっているものと考えられます。

## ③ 家庭での過ごし方について

※数値は肯定的意見（「あてはまる」、「どちらかといえばあてはまる」の合計）のパーセントです。

質問項目	1年生(%)	2年生(%)	3年生(%)	全校(%)
家庭で計画的に学習できている	55	61	70	62
規則正しい生活・十分な睡眠	73	78	78	76

※数値は肯定的意見（「あてはまる」、「どちらかといえばあてはまる」の合計）のパーセントです。

質問項目	1年生(%)	2年生(%)	3年生(%)	全校(%)
平日のゲームが3時間以上	27	22	22	24
平日のスマホ・ネットが3時間以上	19	24	20	21



- ・家庭学習の「自律化」へのステップ

「計画的な家庭学習」の全校平均は62%に留まっています。1年生（55%）から3年生（70%）へと学年が上がるにつれて向上していますが、依然として、家庭での学習に課題が残る結果となりました。

- ・メディア利用と健康のバランス

平日のゲームやネット利用が3時間以上という生徒が全校で約2割存在します。睡眠時間が「十分である」と答えた割合が76%（特に3年生は約25%が「あまり思わない・思わない」と回答）であることから、生活リズムの維持が、学習の質を左右する重要な鍵となります。スマホ・ネット等のメディアコントロールの必要性が浮かび上がる結果となりました。